

当誌「みやのわ」へのご意見・ご感想をお聞かせください

済生会宇都宮病院 経営支援課
〒321-0974 宇都宮市竹林町911-1
✉ miyanowa@saimiya.com

▶ 当院ホームページでバックナンバーをご覧くださいませ。



トップページ > 病院について > 広報

当院の直近3カ月の診療実績

	令和5年3月	令和5年4月	令和5年5月
延外来患者数	33,464人	28,951人	29,628人
実入院患者数	1,380人	1,293人	1,358人
平均在院日数	11.6日	11.8日	11.8日
救命救急センター患者数	1,367人	1,271人	1,244人
救急車台数	631台	636台	691台
手術件数	656件	571件	617件

健康であるにはお口の衛生が大切であるということをお聞きしています。「風邪は万病の元」といいますが、口の中が不潔であることも万病の元なのです。口腔内の細菌(歯周病菌)が唾液とともに肺に入ると誤嚥性肺炎が起きますし、血管から全身に入ると糖尿病や動脈硬化(心筋梗塞、脳卒中など)に罹患しやすくなることわかっていきます。

当院では以前から口腔衛生が重要であると考えておりましたが、歯科・口腔外科がないため宇都宮市歯科医師会の協力のもと2017年に歯科(口腔ケア)を開設しました。現在は週5日体制で運営しており、定期的に当院と歯科医師会の検討会を行い、より充実した診療と化

お口の中を大切に



学療法、放射線治療予定の患者さんです。口腔ケアを行うことで術後肺炎や誤嚥性肺炎の発生を減らすことを目的としており、実際にこれらの発生が減ったというデータが得られています。治療に成功しても肺炎に罹患しては元も子ありませんので、そうならないように最善を尽くしているのです。手術を受けるのになぜ口腔ケア室に通院しなければならぬのかという疑問を持つ方も中にはいらっしゃると思いますが、歯科医師や歯科衛生士の話を聞くうちに「口腔ケアの重要性を理解しました、これからは続けたい」という声が多く寄せられています。

健康はお口からということと理解していただき、病気の有無にかかわらず普段から正しく歯磨きし、口の中を舌をきれいに保って元気な生活を送りましょう。

一般外来診療のご案内

受付時間 8:30 ~ 11:00
(一部、受付時間が異なる診療科がございます)

※当院を初診で受診する際は、まず、かかりつけ医に受診し、専門的な治療や検査または入院などが必要とされた場合に、紹介状を持参していただきますようお願いいたします。初診時に紹介状がない場合には、**選定療養費7,700円(税込)**をお支払いいただくこととなりますので、ご理解のほどお願いいたします。

無料低額診療のご案内

当院は、社会福祉法第2条に規定する第2種社会福祉事業として、無料または低額な診療を行う医療機関です。



治療費の支払いにお困りの方は、本館1階「**がん相談支援センター／医療相談・看護相談室**」の医療ソーシャルワーカーにご相談ください。

駐車場料金のご案内

30分以内 無料

5時間まで 200円

5時間以降 1時間ごとに100円加算



駐車券をなくされた場合は、**5,000円**をお支払いいただくこととなりますので、大切に保管してください。

栃木県からのお知らせ
救急電話相談のご案内

子どもの救急電話相談(概ね15歳未満の方)

☎028-600-0099 局番なしの #8000
月～土 午後6:00～翌朝8:00
日祝日 午前8:00～翌朝8:00(24時間)

大人の救急電話相談(概ね15歳以上の方)

☎028-623-3344 局番なしの #7111
月～金 午後6:00～午後10:00
土日祝 午後4:00～午後10:00

急な病気やケガなどで心配な時にご利用ください。経験豊富な看護師が家庭での対処法や、救急医療の受診の目安などをアドバイスします。

がん相談支援センター
医療相談・看護相談室のご案内

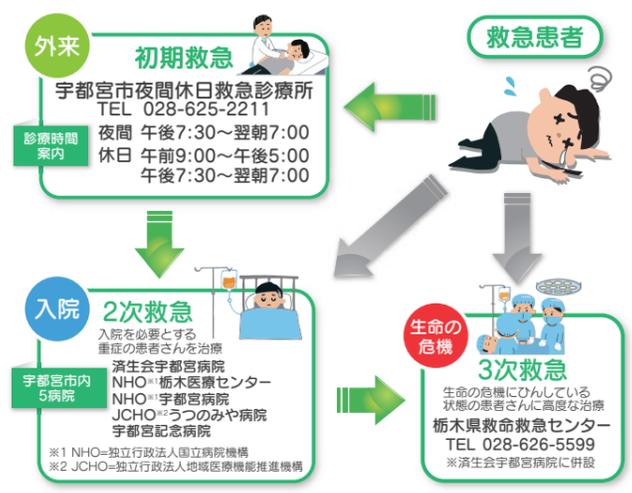
がんの診断を受けた患者さんやそのご家族に対し、専門のスタッフ(専門・認定看護師、医療ソーシャルワーカー)がサポートいたします。「がんと言われて辛い…」「こんな時どうしたらいいの…」「今後のことを考えたい…」「誰かに聞いてもらいたい…」こういった不安やお困りのことがありましたら、どうぞお立ち寄りください。

▶ 当院は、「地域がん診療連携拠点病院」です。電話と面談による相談をお受けしております。

☎028-626-5500(代)
【内線】3245



栃木県からのお知らせ
救急医療体制のお知らせ



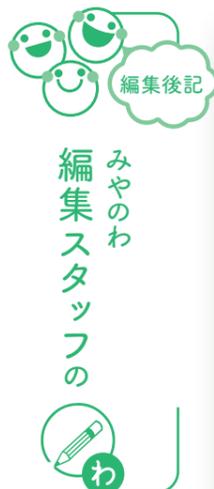
ちょこっとメモ 8月3日

はちみつの日

全日本はちみつ協同組合と日本養蜂はちみつ協会が1985年(昭和60年)に制定しました。日付は「はち(8)みつ(3)」の語呂合わせから。ちなみに、3月8日は両組織が制定した「みつばちの日」となっています。

人とミツバチの関係は古く、古代エジプトの壁画にはミツバチを飼っている様子が描かれ、日本では平安時代に、はちみつが宮中への献上品となるほど貴重な品であったといわれています。

健康と美容の効果が高いとされ、最近では健康食品としてはちみつを使った商品も多く見かけます。はちみつの日をきっかけに健康を意識してみてください。



「みやのわ80号」を最後までお読みいただき、ありがとうございます。今号が皆さまのお手元に届く頃には、季節もすっかり夏を迎えているかと思いますが、いかがお過ごしでしょうか?

新型コロナウイルスの5類への移行後、初めて夏を迎えることとなります。コロナ禍前の日常へ少しずつ近づいていますが、夏休みの予定は立てましたか? 私は、少し足を伸ばして家族とひまわり畑に行きたいと思っています。各地で様々なイベントが開催されていますが、引き続き感染対策は行いつつ、楽しい夏をお過ごしください。

最後になりますが、まだまだ暑い日が続きますので、体調管理にはお気を付けてください。次号の「みやのわ」もよろしくお願いたします。